

コラム③ 施設入所者への地域移行調査の取組（品川区の取組）

東京都自立支援協議会では、地域自立支援協議会間のつながりをつくり、先進的な取組を共有することで、協議会活動の活性化をはかることを目的に、令和5年度から年2回「自立支援協議会担当者連絡会」（以下、「連絡会」といいます。）を開催しています。

令和6年度は、まさにこの冊子の昨年度版「令和5年度版 東京都内の自立支援協議会の動向」から、東京都自立支援協議会委員が選んだ各自治体の先進事例を報告していただきました。ここでは、令和6年7月9日に開催した第1回連絡会で発表していただいた品川区の取組を紹介します。

品川区では、第6期品川区障害福祉計画（令和3年7月策定）で、令和元年度末施設入所者271人中、令和5年度までに10人が地域移行という成果目標が定められ、あわせて地域移行の取組は「品川区地域自立支援協議会」で検討・構築していくことになりました。

この計画に沿って自立支援協議会で検討した結果、令和4年度に障害者支援施設入所者274人に対し、地域生活移行に関するニーズ調査を実施しています。実施にあたっては、自立支援協議会の相談支援部会で意見交換しながら検討を重ね、調査には相談支援専門員があたること、調査ツールとして、生活の場や誰かと一緒に暮らすイメージができるイラスト集を活用することなどが決まりました。また、調査の実施にあたっては、自立支援協議会の会長が講師を務め、調査にあたる相談支援専門員に対し意思決定支援に係わる研修を行っています。

このような準備を重ねたところ、調査の回答率は83.6%という非常に高いものとなり、地域生活を希望する施設入所者は19人であるという結果になりました。この結果は、第7期品川区障害福祉計画（令和6年4月策定）にも反映され、令和6年度時点でも支援を継続しています。

	個室	食事	風呂・トイレ
一軒家	 あり	 共同	 共同
アパート	 あり	 共同	 各部屋
サテライト	 あり	 ひとり（近くのGHで食べることも可能）	 各部屋



※品川区自立支援協議会ホームページ「令和4年度第2回品川区地域自立支援協議会」資料1アンケート用イラストから抜粋

この品川区の報告に対しては、同様の調査を考えている自治体から、都外施設に入所している方への対応や調査にあたっての予算等について質疑応答があり、今後より詳細な話を伺いたいという情報共有のきっかけともなりました。連絡会自体は、限られた時間の開催ではありますが、協議会間の交流につながるきっかけとなるよう、今後も取り組んでまいります。